平成31年度

# 次世代リーダー育成道場

# 研修生募集要項

東京都教育委員会

# 平成 31 年度　次世代リーダー育成道場研修生募集要項

## １　求める人材

世界や日本の将来を担い、様々な分野において活躍する高い志や意欲をもち、次世代のリーダーとなることを目指して、国内研修及び海外留学で学ぶことを希望する生徒

## ２　募集人数

都立高等学校生徒、都立中学校生徒及び都立中等教育学校生徒 200 人
ただし、Ａコース（平成 32 年(2020 年) １月から約１年間の留学）を希望する生徒 100 人
　　Ｂコース（平成 32 年(2020 年) ８月から約１年間の留学）を希望する生徒 100 人

## ３　留学先

英語圏の国（アメリカ合衆国、オーストラリアなど）
（Ａコース：オセアニア地域、Ｂコース：北米地域）
なお、留学先の国や都市、学校を指定することはできない。

## ４　対象者

次の(1)及び(2)を満たす者

(1)　都立高等学校、都立中学校及び都立中等教育学校に在籍する生徒のうち、以下の学年に在籍し、「５　推薦基準」に基づき校長が推薦する者

Ａコース　都立高等学校第１学年から第３学年まで及び都立中等教育学校第４学年から第６学年まで

Ｂコース　都立高等学校第１学年、第２学年、都立中等教育学校第３学年から第５学年まで及び都立中学校第３学年

ただし、Ａコースについて、平成 13 年４月２日以降に生まれた者、Ｂコースについては、平成 14 年４月２日以降に生まれた者

(2)　次世代リーダー育成道場（以下「育成道場」という。）の趣旨を理解し、学校の代表として使命感をもって修了までの全ての研修に参加できる者

ただし、現在、都立学校に在籍しながら留学又は休学により海外で学習している生徒の応募は認めない。

## ５　推薦基準

次の全てを満たすと校長が判断する者

(1)　心身ともに健康で在籍校での出席状況及び生活態度が良好である者
(2)　学業成績が優秀であり、学校生活と本研修を両立できる者
(3)　英語について、留学出発時までに CEFR B1 相当以上のレベルに高める意欲を有する者
(4)　協調性を有するとともに、学校行事や部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んでいる者
(5)　育成道場の趣旨を理解し、全ての研修に目的意識をもって意欲的に参加することができる者

なお、校長は、志願する者に対して、面接等による選考を行うものとする。

## ６　募集枠

(1)　指定校特別推薦枠（連携型を除く都立中高一貫教育校、進学指導重点校）各校２人　（枠内最大 34 人）
(2)　(1)以外の学校の学校特別推薦枠　各課程１人　（枠内最大 66 人）
　※　別途推薦基準有　「７　出願」を参照すること
(3)　学校一般推薦枠　学校ごとの応募人数制限なし

## 7　出　願

(1)　出願書類

ア　志願者

志願者は、下記の書類を作成し、**校長が定める期限までに学校に提出する**。記入は手書き・黒ペン書きとする。

(ｱ)　平成 31 年度次世代リーダー育成道場入校志願票・受検票（様式１）（以下「入校志願票」という。）

所定欄に写真（カラー・白黒のどちらでも可）を貼ること。

(ｲ)　平成 31 年度次世代リーダー育成道場自己ＰＲカード（様式２）（以下「自己ＰＲカード」という。）

※　各様式は、次世代リーダー育成道場ウェブページ「平成 31 年度　次世代リーダー育成道場研修生募集要項」(PDF)を印刷して使用できる。

イ　学校

校長は、下記の書類を作成し、(2)に示す方法及び期限までに東京都教職員研修センター（以下「教職員研修センター」という。）に提出する。その際、志願者が学校に提出する入校志願票及び自己ＰＲカードも取りまとめ一括して提出すること。

(ｱ)　推薦書（様式３）

推薦者１名につき１通、推薦理由を具体的に記載し、所定の位置に公印を押印する。

※　**学校特別推薦枠の志願者**の推薦に当たっては、特に事業の趣旨に合致していると校長が判断した者のうち、前年度の評定平均 3.8 以上かつ前年度の英語評定平均 4.0 以上を有する者とし、特記事項欄にその理由・内容を全て記載する。

(ｲ)　被推薦者一覧表（様式４）

学校ごとに作成し、所定の位置に公印を押印する。

応募者多数で欄が不足する場合は、行を増やして作成する。作成に当たっては、別途配布される Excel ファイルに入力し、印刷したものを提出する。併せて入力したデータを調査統計システムに提出する。

※　被推薦者ごとに入校志願票、自己ＰＲカード、推薦書をまとめ、被推薦者一覧表を一番上にして被推薦者一覧表の番号順に封筒に入れること。（下図参照）

(2)　提出方法及び提出期限等

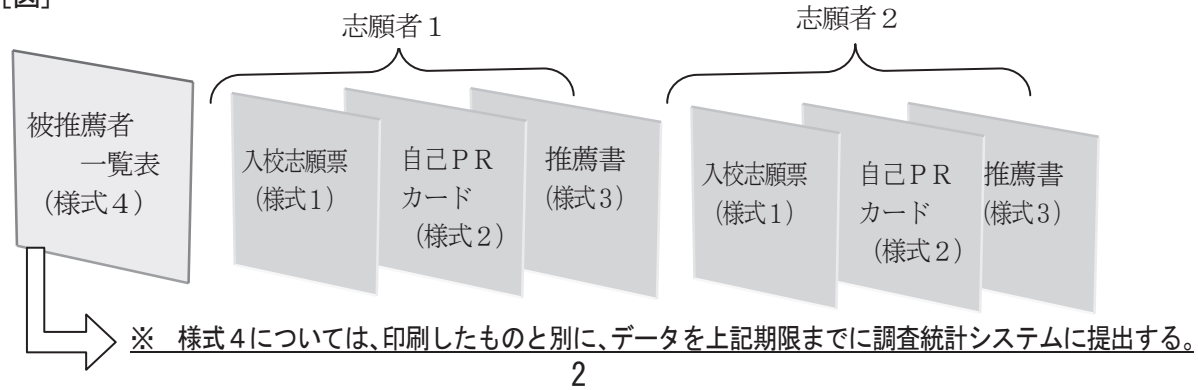
ア　郵送（簡易書留）　　平成 31 年(2019 年) 5 月 10 日（金）必着

〒113-0033
東京都文京区本郷一丁目３番３号
東京都教職員研修センター　７階
研修部教育開発課長宛　　（次世代リーダー育成道場出願書類在中と朱書）

イ　持参　　平成 31 年(2019 年) 5 月 10 日（金）午後５時まで
教職員研修センター７階研修部教育開発課（人材育成担当）

ウ　その他　　いずれの場合も教職員研修センター研修部教育開発課長宛ての親展扱いとする。

**[図]**



## ８　選　考

東京都教育委員会が全ての志願者を対象に選考を行い、研修生を決定する。

選考は、面接（日本語・英語）、小論文（日本語）、英語筆記テスト、自己ＰＲカード、推薦書に基づき行う。

＜選考日＞

小論文（日本語）及び英語筆記テスト　平成 31 年(2019 年) ５月 26 日（日）

面接（日本語・英語）　平成 31 年(2019 年) ６月１日（土）又は６月２日（日）

※　時間の詳細については、別途連絡する。原則として選考日時の変更は認めない。選考日に学校行事や授業等がある場合は、被推薦者一覧表（様式４）の所定欄に記入すること。

## ９　研修生の決定

(1)　選考委員会

ア　研修生の決定を公正に行うため、東京都教育委員会に次世代リーダー育成道場研修生選考委員会（以下「選考委員会」という。）を置く。

イ　選考委員会は、研修生候補者の選定に関する審査を行う。

ウ　研修生候補者の選定は、面接（日本語・英語）、小論文（日本語）、英語筆記テスト、自己ＰＲカード、推薦書に基づき行う。

(2)　研修生の決定

東京都教育委員会は、選考委員会の資料を総合的に判断して、研修生候補者の中から、コース別に研修生を決定する。

## 10　結果の通知

(1)　平成 31 年(2019 年) ６月 19 日(水)に、東京都教育委員会から選考の結果を校長宛てに発送する。

(2)　志願者には、校長を通じて、育成道場研修生選考結果通知書を交付する。

(3)　合格者には、校長を通じて、育成道場入校届の用紙及び入校に係る書類を送付する。

## 11　入校手続

(1)　合格者

合格者は、校長を通じて、育成道場入校届を受け取り、必要事項を記入し**校長が定める期日までに学校に提出する**。

(2)　学校

校長は、合格者全員の育成道場入校届を一括して次の(3)に示す方法及び期限までに教職員研修センターに提出する。

なお、学校提出期限までに、合格者から育成道場入校届が提出されなかったときは、入校の意思がないものとみなし、校長は入校辞退の手続きを行う。

(3)　提出方法及び提出期限等

ア　郵送（簡易書留）　平成 31 年(2019 年) ６月 28 日（金）必着

| |
|---|
| 〒113-0033<br>東京都文京区本郷一丁目３番３号<br>東京都教職員研修センター　７階<br>研修部教育開発課長宛　（次世代リーダー育成道場入校届在中と朱書） |

イ　持参　平成 31 年(2019 年) ６月 28 日（金）午後５時まで

教職員研修センター７階研修部教育開発課（人材育成担当）

ウ　その他　いずれの場合も教職員研修センター研修部教育開発課長宛ての親展扱いとする。

## 12　受講料等

(1)　研修生は下記の受講料を納付すること。

Ａコース、Ｂコースともに 80 万円

この受講料は、留学に係る基本的経費（渡航費、滞在費、学費等）に充当する。

また、経済的理由により納付困難である場合、受講料の減額又は免除を申請することができる。住民税納付額等の基準や納付時期等の詳細については、入校後のオリエンテーションにて説明する。

(2)　留学に係る基本的経費以外の諸経費及び事前研修等に要する交通費等は、別途自己負担とする。

## 13　応募書類に記載された個人情報の利用について

応募で提供された個人情報は、選考の目的以外には使用しない。

## 14　特記事項

(1)　留学前に、戦争、テロ、自然災害、感染症等が発生した場合、留学を延期又は中止することがある。また、留学中に同様の事態になった場合には、帰国の勧告又は命令を行うことがある。

(2)　育成道場入校は、留学を保証するものではない。ビザの申請状況や学業成績、心身の健康状態などの事情等により留学ができない場合がある。

(3)　研修生として、東京都教育委員会やホストスクールをはじめとする現地関係機関からの指導に従わないなどの不適切な行動が見られた場合には、研修生としての資格を取り消すことがある。

(4)　合格後、校長から学校推薦を取り消されたときや、都立高等学校、都立中等教育学校又は都立中学校に在籍しなくなったときは、研修生としての資格を取り消す。

## 15　その他

(1)　育成道場入校後、研修生は原則として全ての研修等に参加しなければならない。また、指示された全ての課題等を提出しなければならない。

(2)　報告書の提出、研修に関する連絡などで、電子メールを利用する場合がある。

(3)　育成道場入校後、研修生は、東京都を代表する生徒としてふさわしい態度と服装で研修に参加する。

(4)　留学先国及びホストスクール、ホストファミリーについては、研修生が提出するアプリケーション・フォーム、成績証明書等の資料に基づき総合的に判断して決定する。

(5)　本事業の成果検証の一環として、修了後も修了生及び学校にアンケート調査等への協力を依頼する。

(6)　本事業の業務の一部を東京都が委託する業者が事務局として担当する。

## 16　問合せ

本事業の募集に関する問合せは、学校を通して受け付ける。

# Ｑ＆Ａ

## 【応募から留学まで】

**Ｑ１　コースは、応募のときに決めなければなりませんか。**

応募のときに、希望する留学コース（Ａ又はＢ）を決めて出願します。ただし、入校志願票に第２希望を記入している志願者については、選考状況により、第２希望のコースで合格となることがあります。いずれかのコースのみ希望する場合には、第２希望欄の「希望なし」に〇を付けてください。また、国籍を有する国からは、留学ビザが発給されないため、当該国を含むコースの選択は避けてください。

**Ｑ２　留学のために英語の力はどの程度必要ですか。**

海外での学習や生活を意義あるものにするためには、相応の英語力が求められます。目安として、応募のときに、CEFR A2 相当の英語力があることが望ましいです。事前研修や自己学習を通して、留学出発時までに CEFR B1 相当以上の英語力を身に付けるようにしてください。留学手続き時に英語力が不足する場合は、現地校での受入れができない場合があります。

**Ｑ３　研修生に選ばれると、必ず留学できますか。**

留学に当たっては、英語力、ビザ申請、在籍する高等学校等及び過去に在籍した中学校等を含む成績証明書、健康診断結果等の審査が済み、留学先国及び現地校から受入を許可されてはじめて留学が決定します。研修生が留学できるかどうかは、こうした審査結果によるため、研修生になることにより留学が保証されるものではありません。また、事前研修へ取組状況によっては、留学できないことがあります。

**Ｑ４　事前研修は、いつの時期にどのくらい設定されるのですか。**

Ａコースでは７月から翌年１月まで、Ｂコースでは７月から翌年７月までの期間中、月に２回程度日曜日等に実施する予定です。また、事前研修の他に、オリエンテーションも実施します。両コースとも研修の回数・内容は同じです。

**Ｑ５　研修の日と部活動の大会が重なった場合はどうすればいいですか。**

原則として、全ての研修に出席することが求められます。ただし、校長の判断により、学校行事や部活動の公式戦の参加等を理由に研修の欠席を認められることがあります。その場合、事前に学校を通じて相談し、届出が必要です。欠席理由にかかわらず、研修により後日課題の提出等が必要となります。

## 【留学中について】

**Ｑ６　留学中、次世代リーダー育成道場からの課題はありますか。**

留学中の研修生は、月に一度事務局を通じて東京都に留学状況を報告します。また、研修の一つである「ゼミナール研究」の論文も留学中に提出します。その他に、時間割や校外学習報告書の提出等があります。育成道場の課題以外に、在籍校の規定により、留学中の報告が必要な場合があります。

**Ｑ７　留学中のサポートはありますか。**

留学中は、現地関係機関スタッフがメールや訪問などを通して、研修生の学校生活や家庭生活、課外活動等の相談にのっています。

**Ｑ８　留学中、研修生が海外へ旅行することや日本に帰国することは可能ですか。**

研修生が安全に約 11 か月の留学生活に専念するために、留学先国以外の国への旅行や日本への一時帰国は原則として禁止しています。

ただし、家庭の事情等による緊急帰国については、事務局に相談してください。

なお、自己都合による渡航日等の変更が生じた場合は、渡航費用等は自己負担となります。

**Ｑ９　留学中、日本の家族は留学先の研修生を訪問することは可能ですか。**

異文化への適応を促進するため、家族や親戚、縁者が留学先の研修生を訪問することは慎むよう、規則で定めています。

**Q10　留学に係る基本的経費以外の諸経費とは、どのようなものですか。**

留学の準備として、パスポート取得費用、ビザ申請料・ビザ取得関連費用、海外旅行保険基本契約以外の保険料、健康診断費用、予防接種費用等が必要です。留学先では、制服代、教材・教具費等がかかります（30万円から40万円程度）。

また、育成道場では、オンライン学習や電子データによる課題提出等のため、コンピューターを使用します。

## 【留学後について】

**Q11　休学して留学し、元の学年に戻ることはできますか。**

生徒本人と保護者の希望に基づき校長が休学を許可した場合は、休学扱いで留学し、元の学年に戻る（１年間留年する。）ことも可能です。ただし、留学単位の認定制度の趣旨を踏まえ、留学前に学校と十分に相談する必要があります。原則として、留学前に校長が決定し許可した留学又は休学を後で変更することはできません。

**Q12　留学扱いで留学した場合の単位はどのように認められるのですか。**

単位修得の認定は、外国の高等学校で履修した内容を、日本の高等学校の教科・科目に対応させるのではなく、帰国後に、留学期間の全体をまとめて行います。留学によって認定される単位数は、在籍校がそれぞれ規定しています。

**Q13　留学期間終了後、引き続き現地の大学に進学するなど、留学を延長することはできますか。**

できません。研修生は次世代リーダー育成道場の研修の一環として留学していますので、日本に帰国し修了認定を受ける必要があります。

（様式１）

| 受検番号（事務局記入） |
|---|
| |

# 平成 31 年度次世代リーダー育成道場　入校志願票

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 在籍校 | 学校名 | 都立　　学校 | | | |
| | 課程・学年（○を付ける） | 全日制　・　定時制　・　通信制　　第（　　）学年 | | | |
| 志願者 | フリガナ | | 性別 | 写　真<br>正面上半身脱帽<br>（４cm×３cm）<br>写真裏面に学校名・氏名を記入の上、全面をのり付けすること<br>平成 31 年３月１日以降に撮影したもの | |
| | 氏　　名 | | | | |
| | 生年月日 | 平成　　年　　月　　日生（　　歳） | | | |
| | 留学先の国籍の有無※（○を付ける） | あり（国名　　）・　なし | | | |
| 保護者 | 氏名 | | 志願者との続柄（○を付ける） | | |
| | 緊急連絡先 | （電話）　　－　　－ | 父　・　母　・（　　） | | |
| 留学コース（○を付ける） | | 第１希望 | Ａ　・　Ｂ | 第２希望 | Ａ　・　Ｂ　・　希望なし |

※　留学先の国籍とは、アメリカ合衆国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドのいずれかの国籍（二重国籍を含む）をいう。

「平成 31 年度次世代リーダー育成道場研修生募集要項」の記載事項に従い、
上記のとおり申し込みます。

年　　月　　日

本人署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

上記記載内容は事実に相違ありません。
「平成 31 年度次世代リーダー育成道場研修生募集要項」の記載事項に従い、
上記のとおり申し込みに同意します。

年　　月　　日

保護者署名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印

# 平成 31 年度次世代リーダー育成道場
# 受検票

| | |
|---|---|
| 受検番号（事務局記入） | |
| 氏　　名 | |
| 在 籍 校 | 都立　　学校 |

1　小論文及び英語筆記テスト
　実 施 日　　５月 26 日（日）
　集合時刻　　午前９時 20 分

2　面接選考
　実 施 日　　６月１日（土）又は６月２日（日）
　・集合日時については別途通知します。

3　持ち物
　受検票、筆記用具、時計
　・上履きは不要です。
　・時計以外の機能を備えた時計、携帯電話や腕時計型の端末などの通信機器の持込みはできません。

4　会　場
　東京都教職員研修センター
　〒113-0033　文京区本郷１－３－３

アクセス

■JR 総武線「水道橋」駅東口より徒歩３分
■都営三田線「水道橋」駅徒歩３分
■東京メトロ丸ノ内・南北線「後楽園」駅　徒歩８分
■都営三田線／大江戸線「春日」駅　徒歩８分

（様式２）

| 受検番号（事務局記入） |
|---|
| |

# 平成 31 年度　次世代リーダー育成道場　自己ＰＲカード

| フリガナ | | 留学コース（○を付ける） | |
|---|---|---|---|
| 氏　名 | | 第１希望 | 第２希望 |
| | | Ａ　・　Ｂ | Ａ　・　Ｂ　・　希望なし |
| 在籍校 | 都立　　学校（　　）課程　第（　　）学年 | | |

１　志望の理由

２　次世代リーダー育成道場で学びたいこと、身に付けたいこと、伸ばしたい力

３　在籍校で力を入れて取り組んでいること

４　英語に関する各資格・検定試験等の取得状況

| 検定名 | 級・スコア等 | 取得時の学年 | 取得年月 |
|---|---|---|---|
| （例）実用英語検定 | 準２級 | 中３ | 2018 年２月 |
| （例）TOEFL iBT | ４２ | 高１ | 2018 年 12 月 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

（様式3）

| 受検番号（事務局記入） |
|---|
| |

# 推　　薦　　書

年　　月　　日

東京都教育委員会　殿

学校名

校長名　　印

平成 31 年度 次世代リーダー育成道場研修生募集要項に基づき、下記の者を推薦します。

記

| | |
|---|---|
| フリガナ | |
| 氏　　名 | |
| 募 集 枠<br>（○を付ける） | 指定校特別推薦枠　・　学校特別推薦枠　・　学校一般推薦枠 |

| | |
|---|---|
| 推薦理由<br>（具体的に記述してください。） | ＜被推薦者の学業成績及び英語力について＞ |
| | ＜被推薦者の学校行事や部活動、ボランティア活動等の取組について（積極性や協調性）＞ |

●**学校特別推薦枠の志願者**の場合は、以下に特記事項を記載してください。

前年度評定平均・前年度英語評定平均：評定平均値は、小数点以下第２位を四捨五入してください。被推薦者が高等学校第１学年の場合は、中学校第３学年の指導要録抄本の評定を記入してください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 特記事項<br>（具体的に記述してください。） | | | | |
| | 前年度評定平均 | | 前年度英語評定平均 | |

（様式４）

| 整理番号（事務局記入） |
|---|
| |

年　　月　　日

東京都教育委員会　殿

# 被推薦者一覧表

学校名　　都立　　学校※1

［　　課程※2］

校長名　　印

平成 31 年度次世代リーダー育成道場研修生として推薦する者は下記のとおりです。

記

| 募集枠 | 氏　名 | 性別 | 学年 | 留学コース※3 | | 受検番号（事務局記入） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 第1希望 | 第2希望 | |
| 指定校特別推薦枠 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 学校特別推薦枠 | | | | | | |
| 学校一般推薦枠※4 | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | 計　　人 | |

※1　附属中学校は高等学校と一つの表に取りまとめてください。
※2　課程ごとに作成してください。
※3　留学コースの希望は、入校志願票を確認の上、誤りのないようA、B、希望なしのいずれかを記入してください。
※4　行数が不足する場合は行を挿入してください。

○校内選考方法を記入してください。

| （記入例：校長面接） |
|---|
| |

○選考日の6月1日（土）又は6月2日（日）に学校行事や授業等がある場合は、理由といずれか受検可能な日時を必ず記入してください。
（記入がない場合、原則として通知後の変更には応じません。）

| |
|---|
| |

○受検にあたり特別な配慮を要する志願者がいる場合は、その旨を必ず記入してください。

| |
|---|
| |

平成31年度　次世代リーダー育成道場研修生募集要項
平成31年３月発行
東京都教職員研修センター印刷物登録
平成30年度第16号

〒113-0033
東京都文京区本郷一丁目３番３号
東京都教職員研修センター研修部教育開発課

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。